

様式第 10

循環型社会形成推進地域計画改善計画書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
野木町	野木町	平成 28 年度～令和 2 年度	平成 28 年度～令和 2 年度

1 目標の達成状況
(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成26年度)	目 標 (令和2年度) A	実 績 (令和2年度) B	実績 /目標
総人口	25,885	25,126	25,417	—
公共下水道	汚水衛生処理人口 18,535	19,382	18,774	28.2%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率 71.6%	77.1%	73.9%	41.8%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口 1,174	1,221	1,076	-208%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率 4.6%	4.9%	4.2%	-133%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口 4,152	3,260	4,197	-5.0%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率 15.9%	13.0%	16.5%	-20.6%
未処理人口	汚水衛生未処理人口 1,845	1,263	1,370	81.6%

※目標未達成の指標のみを記載。

2 目標が達成できなかった要因

<p>1. 合併処理浄化槽 浄化槽推進区域の一部で宅地開発が許可されたことにより、新築住宅の数が増加した。それに伴い合併処理浄化槽の設置数が増加した。さらに、下水道認可区域に設置された合併処理浄化槽が様々な理由により公共下水道に転換できていないことも要因の一つであると考えられる。</p> <p>2. 公共下水道 現状値に対し処理人口及び普及率が上昇している。これは、下水道認可区域内で公共下水道の敷設及び接続工事を計画的に進められていることを示している。しかし、接続工事は対象区域に居住の方の申請をもって行われるため、現在の汚水処理設備（合併処理浄化槽等）を利用したい等の理由から、公共下水道に転換できていないことが要因として考えられる。</p>
--

3. 集落排水施設等

浄化槽推進区域の一部地区の人口が増えている一方で、集落排水施設等を利用している地区の人口が減少している。この人口減少により、処理人口及び普及率が減少していると考えられ、その地区に対する総人口に対して普及率が低下しているものでない。

3 目標達成に向けた方策

目標達成年度 令和5年度まで

1. 合併処理浄化槽の処理人口や普及率を小さくし、公共下水道の処理人口や普及率を大きくするため、公共下水道への切り替えを促進していく。促進は下水道担当課と協働して広報やホームページ等あらゆる媒体を使い町民に啓発していく。
2. 目標達成とは別に単独処理浄化槽や汲み取りを合併処理浄化槽への転換を促進していくのも課題である。これは公共下水道への切り替えと同じように広報やホームページ等あらゆる媒体を使い町民に啓発していく。

(都道府県知事の所見)

浄化槽台帳の整備等により、まずは町内の各区域における単独処理浄化槽や汲み取り槽の基数の把握に努めていただきたい。
その上で、当該地域計画で設定した各項目の目標値が適切であったかを見直す必要があると考える。
また、今後も、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換促進等を図ることにより、汚水処理人口普及率の向上に取り組んでいただきたい。